

第6回清瀬市補助金適正化検討委員会会議録（要旨）

会 議 名：平成29年度 第6回 清瀬市補助金適正化検討委員会

事 務 局：企画部財政課財政係

開催場所：男女共同参画センター4階 会議室1

日 時：平成29年11月15日（水曜日）

午後6時30分～午後8時10分

出席者：委員10名（星野委員長、菅原副委員長、新田委員、原田委員、
大津委員、小柳津委員、北原委員、早坂委員、林委員、
村野委員）

その他4名（企画部長、財政課長、財政課財政係長、他1名）

欠席者：0名

傍聴者数：2名

会議次第

1. 開会
2. 第5回議事録（要旨）の確認
3. 議題
 - （1）補助金適正化の検討について
 - （2）その他
4. 閉会

審議経過

1. 開会

委員長より開会の挨拶

2. 第5回議事録（要旨）確認

委員長が各委員に対して確認し、各委員が了承。

なお、関連して、以下のとおり委員から質問があった。

（委員）

本委員会での答申はどの程度の影響力があるのか。

また、答申を受けて、市はどのような手続きを踏んで補助金の方向性を決定するのか。

（事務局）

本委員会での答申は非常に重要なものと受け止めており、市政に反映する必要があると考えている。

手続きとしては、答申を受けて、最終的には市長が決定する。

3. 議題

（1）補助金適正化の検討について

前回に引き続き、資料10をもとに各補助金の検討を行い、以下のとおり評価を行った。

番号	補助金名	評価	意見
65	青少協地区委員会運営費等補助金	見直し	平成24年度の補助金適正化検討委員会で「見直し」と指摘されているが、その後も予算額に変更はなく、十分な見直しがされているとはいえない。 また、補助金申請者と補助金決定者が同一の者であることは、一概に否定されるものではないが、行政の透明性を疑われないよう、合理的な説明が必要である。 補助の目的・効果が達成されているか再検証するとともに、予算額については大幅な削減に向けた見直しを求める。
66	児童館まつり補助金	見直し	平成24年度の補助金適正化検討委員会で「見直し」と指摘されているが、指摘内容の見直しには至っていない。 収入増を図るなど、補助金に頼ることなく運営が可能となるような制度設計に見直しを求める。

番号	補助金名	評価	意見
67	清瀬市緊急一時預かり事業補助金	現状維持	—
68	清瀬市子育てキラリクーポン券事業補助金	増額	社会情勢や市民ニーズ等を反映し、必要に応じて対象年齢を拡充するなど、増額も含めた検討が必要である。
69	清瀬市特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業助成（耐震診断）	現状維持	—
70	清瀬市特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業助成（補強設計）	現状維持	—
71	清瀬市特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業助成（耐震改修）	現状維持	—
72	清瀬市木造住宅耐震診断助成	現状維持	—
73	清瀬市木造住宅耐震改修等助成	現状維持	—
74	清瀬市木造住宅耐震改修等助成（耐震シェルター）	廃止	補助開始から数年経過したが、いまだに交付実績が無いことを踏まえると、市民ニーズに合致した補助金であるとは言えず、廃止が妥当である。
75	清瀬市子育て世帯近居支援事業	現状維持	—
76	交通安全協会補助金	現状維持	ただし、補助対象事業費のほぼ100%を市からの補助金で賄っており、他の補助金と比較すると補助率が非常に高いことについて、合理的な説明が必要である。
77	清瀬市コミュニティバス運行事業費補助金	見直し	補助金の増額ではなく、現行の事業内容を見直すことで収支改善に努めるべきである。 利用者増に繋がる見直し、コスト削減に向けた見直しを求める。
78	街路灯電気料等補助金	現状維持	—
79	清瀬市飼い主のいない猫の不妊・去勢手術助成金	現状維持	—

番号	補助金名	評価	意見
80	清瀬市太陽光発電システム等設置補助金	見直し	交付実績が年々減少していることを踏まえると、上限額の設定など、現行の補助内容の見直しを求める。
81	保存樹木助成	現状維持	—
82	緑地環境保全区域助成	現状維持	—
83	生け垣助成	廃止	平成 24 年度の補助金適正化検討委員会で「見直し」と指摘されたとおり、実績に合わせて予算額を縮減しているところであるが、平成 28 年度は交付実績がないことを踏まえると、廃止が妥当である。
84	清瀬市水洗便所改造資金助成	廃止	対象件数が極めて少なく、また、交付実績もないことから、廃止が妥当である。
85	清瀬市雨水浸透施設設置助成	削減	市が推進している雨水対策の一環として必要性の高い事業であるが、交付実績が伸びていないことを踏まえると、削減が妥当である。
86	生ごみ減量化処理機器購入費助成金	削減	事業効果は認められるものの、交付実績を踏まえると削減が妥当である。 なお、交付実績が低い要因として、周知不足が考えられるため、今後は周知徹底を図ること。
87	アドプトシステム助成金	現状維持	—
88	し尿浄化槽清掃料金軽減	廃止	対象件数が極めて少なく、また、交付実績もないことから、廃止が妥当である。
89	修学旅行補助金（小学校費）	現状維持	—
90	演劇鑑賞補助金（小学校費）	現状維持	—
91	移動教室補助金（小学校費）	現状維持	—
92	給食検食費補助金（小学校費）	現状維持	—
93	修学旅行補助金（中学校費）	現状維持	—
94	移動教室補助金（中学校費）	現状維持	—

番号	補助金名	評価	意見
95	給食検食費補助金（中学校費）	現状維持	—
96	特別支援学級校外宿泊訓練補助金（小学校）	現状維持	—
97	特別支援学級校外宿泊訓練補助金（中学校）	現状維持	—
98	石田波郷俳句大会助成	現状維持	なお、これまで以上に事業の周知を図り、補助の目的である「市の文化的発展」を期待する。
99	文化協会補助金	現状維持	—
100	体育協会補助金	削減	平成 24 年度の補助金適正化検討委員会で「見直し」と指摘された内容について、十分な見直しがされているとはいえない。 また、交付団体が体育協会である補助金が複数（番号 100～104）存在するため、1 つに統合するとともに、全体として削減するべきである。
101	清瀬市スポーツマスターズ大会補助金	削減	交付団体が体育協会である補助金が複数（番号 100～104）存在するため、1 つに統合するとともに、全体として削減するべきである。
102	都民体育大会参加補助金	削減	交付団体が体育協会である補助金が複数（番号 100～104）存在するため、1 つに統合するとともに、全体として削減するべきである。
103	市町村総合体育大会参加補助金	削減	交付団体が体育協会である補助金が複数（番号 100～104）存在するため、1 つに統合するとともに、全体として削減するべきである。
104	市民マラソン大会参加補助金	削減	交付団体が体育協会である補助金が複数（番号 100～104）存在するため、1 つに統合するとともに、全体として削減するべきである。 なお、市民マラソン大会については、参加費の増額や大会内容の見直しも検討すること。
105	郷土芸能育成補助金	現状維持	—
106	市政調査研究費補助金	見直し	議員は経費の使途について、妥当性を自ら厳格に判断し、市民に対して説明責任を果たさなくてはならない。より一層透明性を高めるための見直しを求める。

番号	補助金名	評価	意見
107	施設整備補助金 (債務負担行為)	現状維持	—
108	特別養護老人ホーム整備費 (債務負担行為)	現状維持	—
109	軽費老人ホーム施設整備費 (債務負担行為)	現状維持	—
110	高齢者在宅サービスセンター（信愛デイケアセンター）建設費 (債務負担行為)	現状維持	—
111	防犯カメラ設置補助	現状維持	—
112	スプリンクラー整備支援事業補助金 (H29年度のみ実施)	現状維持	—
113	賃貸物件による保育所整備事業補助金 待機児童解消区市町村支援事業補助金	現状維持	—
114	保育従事職員宿舍借上げ支援事業	現状維持	—
115	認可外保育施設保育料負担軽減助成事業	現状維持	—
116	認証保育所保育料負担軽減助成事業	現状維持	—
117	使用済注射針回収事業	現状維持	—

(2) その他

次回の日程を確認した。

4. 閉会